



分科会

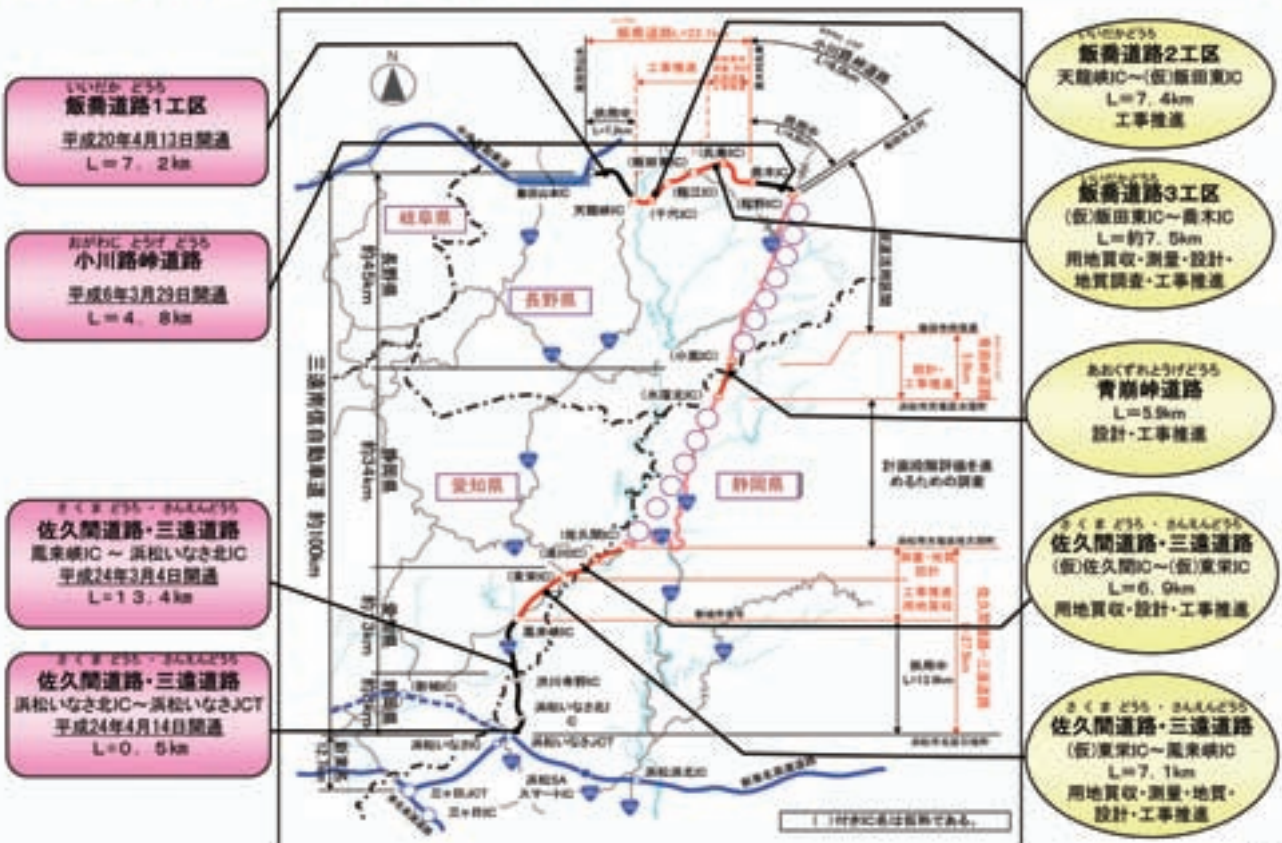
資料

三遠南信自動車道の整備効果と リニア時代の地域づくり

平成25年10月30日

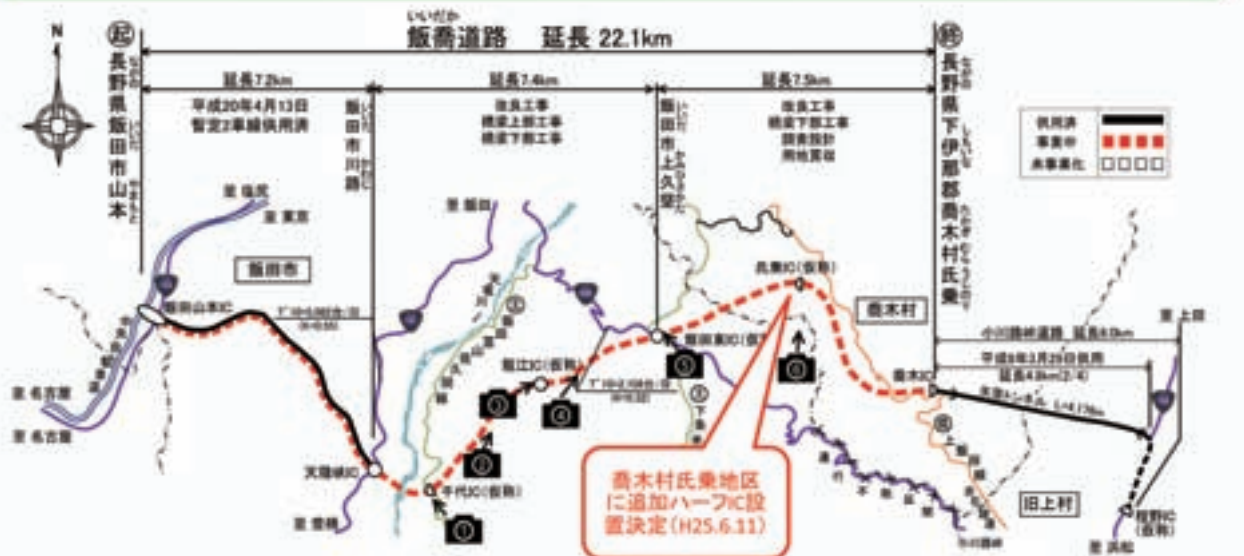
国土交通省中部地方整備局
飯田国道事務所
事務所長 花木 道治

三遠南信自動車道全体の事業進捗状況



飯橋道路の事業進捗状況

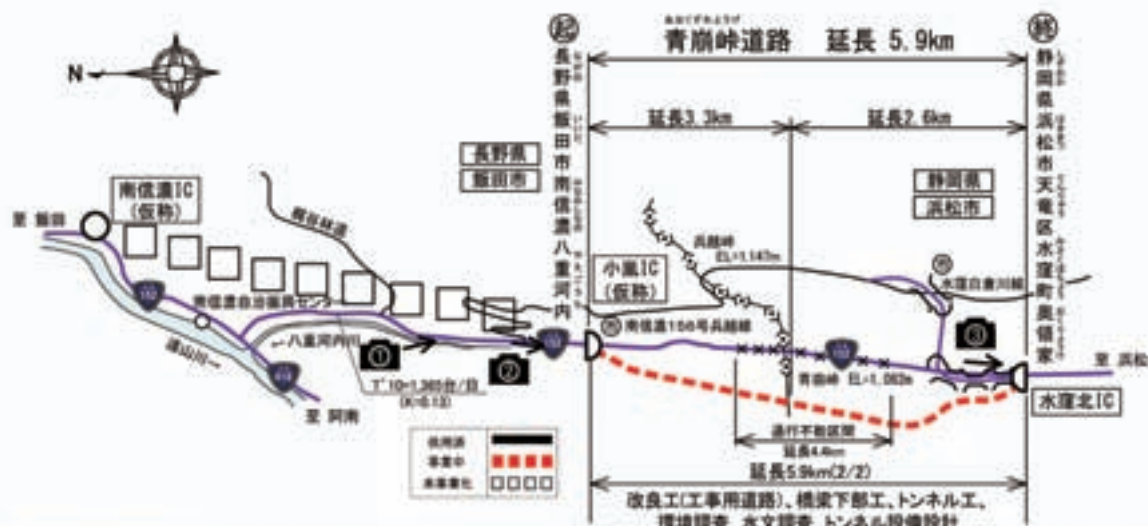
- ・天龍峡IC～龍江IC(仮称)間について、道路建設工事や川路地区から龍江地区の橋梁上部工事を推進します。
- ・龍江IC～飯田東ICにおいて、道路建設工事や橋梁上下部工、埋蔵文化財調査等を実施します。
- ・飯田東IC～喬木IC間において、調査設計を推進するとともに、一部区間で道路建設工事や橋梁下部工を実施します。



① 千代地区の工事状況 ② 20号橋の工事状況 ③ 龍江地区の工事状況 ④ 下久堅地区の工事状況 ⑤ 上久堅地区の工事状況 ⑥ 3工区(喬木地区)全景 3

青崩峠道路の事業進捗状況

環境、水文調査を実施するとともに、道路建設工事や橋梁下部工事及びトンネル工事を推進します。



① 鳥川原橋付近 工事用道路施工状況 ② 大型ブロック積み 施工状況 ③ 中間進入仮橋 施工状況 ④ 本線終点側 4

○佐久間IC～東栄IC間は、平成30年度の供用を目標に工事を進めます。
 ○東栄IC～鳳来峡IC間は、今年度は用地買収、測量、設計を実施します。



①東栄IC現状



②東栄IC現状



③佐久間第1トンネル(入口)



④清川IC現状



⑤清川IC現状



⑥佐久間IC現状



⑦佐久間に現状

期待される効果① 三遠南信地域における高速ネットワークの確保

- 三遠南信自動車道の整備により、三遠南信地域では、高規格幹線道路ICへのアクセス時間が60分を要する地域が解消され、三遠南信地域の高速ネットワークが確保されます。
- 長野県と静岡県を結ぶ主要路線である国道152号の通行不能区間を回避することとなり、三遠南信地域の生活の利便性が向上します。

◆飯田市と西遠都市圏及び東三河都市圏の主要拠点との所要時間短縮効果



人口集中地区(DID)
 三遠南信道整備により拡大する高規格道路IC60分圏(新東名高速道路整備含む)

期待される効果② 災害に強い地域ネットワークの構築

- 三遠南信自動車道の整備により、**事前通行規制を回避**することが可能になります。
- 地域生活において、雨量に影響を受けない**安心・安全な災害に強いネットワーク**が確保されます。
- 三遠南信災害時相互応援協定に伴う連携促進が可能となり、**災害時の地域の安全性、信頼性の強化**となります。

◆三遠南信災害時相互応援協定（平成8年締結）

- (1)被災者の救出・救護、応急復旧等に必要な職員の派遣
- (2)救出、医療、防疫、施設の応急復旧等に必要な資機材（車両を含む。）及び物資の提供又は貸与
- (3)食料、飲料水、生活必需品等の救援物資及びその供給に必要な資機材（車両を含む。）の提供
- (4)児童生徒等その他被災者の一時受入れ
- (5)全各号に掲げるもののほか、特に要請のあった事項

※「三遠南信地域連携ビジョン」において、「三遠南信災害時相互応援協定」の充実（広域的な連携による災害備蓄物効率等）による、安全安心な地域づくりの促進が図られています。



上図は、協定による6ブロックと各ブロック代表都市を示す



◆三遠南信自動車道の整備による災害に強い地域の構築



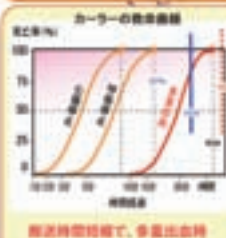
期待される効果③ 地域の医療サービスの向上

- 三遠南信自動車道の整備により、**第3次救急医療施設へ60分以内での搬送**が可能となり、**救命率の向上**が期待されます。
- 開通区間においては、**救急搬送時に患者への負担が軽減**したと言われております。

◆第3次救急医療施設60分圏の拡大



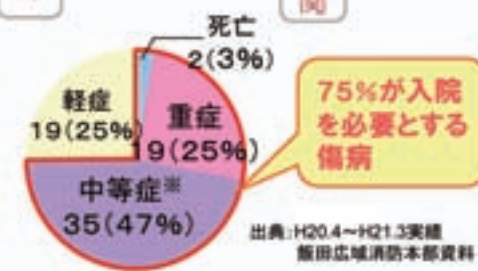
遠山郷からの搬送時間短縮
現在約80分 → 約30分
約50分短縮



搬送時間が短縮で、多量な患者の搬送率が90%に向上



旧上村・旧南信濃村からの救急搬送



出典：H20.4～H21.3実績 飯田広域消防本部資料

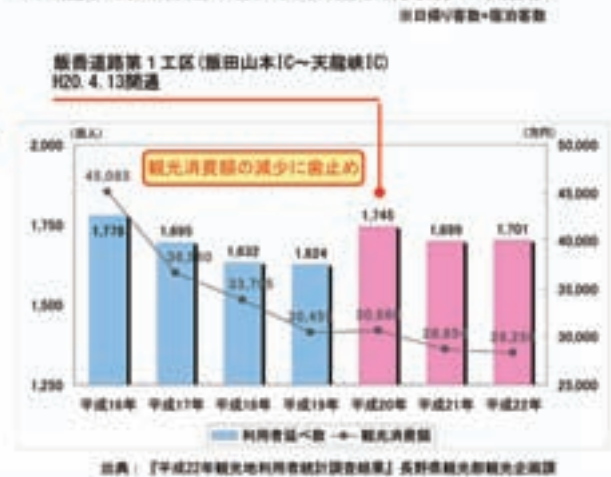
期待される効果④ 高速サービス向上による地域間連携の強化 ～観光・交流支援を例に～

- 三遠南信自動車道の整備により、浜松市から遠山郷へのアクセスは、約90分短縮されます。
- 名勝天龍峡では、飯喬道路第1工区の開通後、観光客数が増加傾向を示しました。
- 三遠南信自動車道の整備により、観光振興による地域の活性化が期待されます。

◆三遠南信地域の主な観光地



◆天龍峡利用者延べ数[※]及び観光消費額の年推移



開通効果① (小川路峠道路) 高校生のバス通学が実現

矢筈トンネル開通後、バス路線開設により、高校生のバス通学が実現

開通前

- 遠山谷地区には高等学校がなく飯田周辺への通学が困難なため飯田市に下宿
- 下宿代を月8万円の負担



開通後

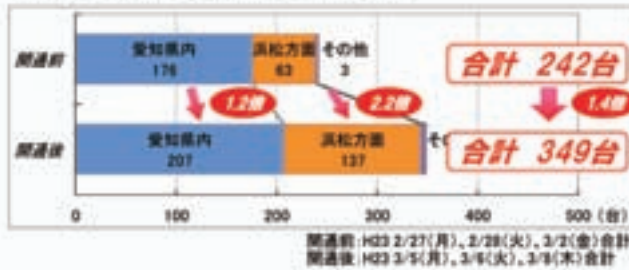
- 親元からバスでの通学が可能に
- バス代を月3万円の負担 (5万円の負担減)



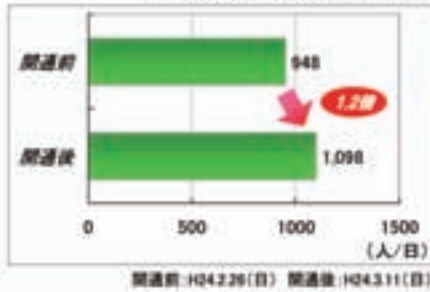
開通効果②（佐久間道路・三遠道路） 観光施設の集客向上

開通後の沿線の観光施設では、入込客数が増加し、奥三河・南信地域における浜松方面からの集客力向上に貢献。

■とうえい温泉入込客数の変化
（平日正午における駐車台数の変化）



■道の駅信州新野千石平入込客数の変化
（買い物客数；レジ利用者）



観光交流施設の運営者の声
（道の駅信州新野千石平）

開通後、駐車車両の大半が浜松ナンバーとなり、浜松方面からのお客さんで賑わいが増えました。浜松方面等への時間が短縮され、道の駅の異なる賑わいと広域圏に向けた南信地域の情報発信・事業拡大が期待できます。

2027年 リニア中央新幹線 開通

劇的に変わる東京との時間距離



リニアを活かす道路整備

- リニア中央新幹線の開業により、地域間所要時間が変化し、国内外の広域な地域からの交流人口の増加が大きく期待
- リニアの効果を三遠南信地域全体に波及させるために三遠南信自動車道が不可欠
- また、南信地域の主要交通機関である自動車や高速バスとの結節が重要



- 自動車や高速バスとの結節の例
 <スマートインターチェンジ> <バイパスの整備>



13

リニアを活用した産業活性化

観光連携

- リニア開業を見据え、新たな連携で新駅周辺等の拠点整備や海外からの玄関口としての機能を強化
- インバウンド観光を含む観光需要を増加させ、他地域との連携強化を図る。

企業誘致

- 地域特有の製造業の強みや、自治体による体制を背景にした企業・研究所の立地促進
- 災害リスク分散のための沿岸部から内陸部への拠点分散
- 商圏の拡大、通勤圏等の拡大による人材確保を背景とした地域産業育成



地域産業育成基盤の整備



例)天龍峡エコバレープロジェクト

- 食と農のファクトリーパーク
 - ・食農工房を中心とした体験、癒しの場
 - ・環境に配慮した地元産材利用の場
- 地元産材活用、環境共生住宅、コミュニティ形成
 - ・エコライフの推進と多種多様な居住形態
 - ・地球温暖化防止と住宅産業の活性化
- 環境産業公園
 - ・環境ビジネスの推進、研究開発の拠点、環境教育の推進

(出典)『地域経済活性化プログラム2013』飯田市、平成25年2月

14

政策の基本方針1：中部圏の中核となる地域基盤の形成

① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現

三遠南信 250 万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結び日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けた取り組みを推進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信自動車道の高規格幹線道路としての全線にわたる早期整備を目指します。特に、(仮)青崩峠道路の早期開通を強く働きかけます。
- ・ 三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けて関係機関へ積極的に働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国への要望などの活動を進めます。

② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実

国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した(シームレス)ネットワークを形成します。

【活動イメージ】

- ・ 港湾、空港と高速道路が一体として機能できるように優先的整備を進めるため、国・県等の関係機関に働きかけるとともに、その積極的な利用に努めます。
- ・ 三河港は、世界的な自動車港湾としての機能を充実するとともに、コンテナ物流の機能を強化します。また、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路構想の実現など、高速道路へのアクセス強化、後背地と港湾を結ぶ国道 23 号バイパスの整備促進を働きかけます。
- ・ 御前崎港は、地域の物流拠点としての機能強化を図るとともに、国道 150 号や金谷御前崎連絡道路の整備を進めます。
- ・ 中部国際空港及び富士山静岡空港においては、就航本数や国内外定期便の増大など利便性の向上に向けた要望を行うとともに、交通アクセスの向上により地域の回遊性などを高め、観光客、航空貨物等の受け入れ態勢を整えます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって国への要望などの活動を進めます。

③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置

リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。

【活動イメージ】

- ・ リニア中央新幹線の早期実現に向けて、全国新幹線鉄道整備法の基本計画から整備計画への格上げを働きかけます。
- ・ 新しく策定される国土形成計画に、科学技術創造立国に相応しいリニア中央新幹線の整備を明確に位置づけるように働きかけます。
- ・ 関係機関と連携、協力し、建設促進の運動や要請活動、調査等を行うとともに、飯田駅実現に向けた運動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国等への要望などの活動を進めます。

④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進

浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 東名高速道路、国道1号・23号バイパス、国道151号、国道152号バイパス、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路を結び合わせることで、豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。
- ・ 東名高速道路部分については、第二東名高速道路に長距離交通が転換すると考えられ、スマートインターなどを活用して、利用を促進します。
- ・ 豊橋・浜松環状道路を取り巻く地域に対して、県境を越えた広域的な視点（広域調整）により都市構造やインフラなどの資本ストックを有機的に結び付けた基盤整備を進めます。特に広域都市の中心部に位置し、交流や居住など多様な可能性を有する浜名湖ゾーンの活用を図ります。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、整備方針を検討します。

⑤ 県境を越えるマスコミの連携

三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信地域内の情報連携の基盤として、各マスコミの連携に向けた意見交換を促進します。
- ・ 県境近接地域での、医療情報等の生活情報の連携を働きかけます。
- ・ 「三遠南信版」の紙面確保や共同ポータルサイトの可能性検討、情報交換を働きかけます。
- ・ 県境を越えるCATVの番組流通や、県境隣接地域での他県の民間テレビ電波の受信の緩和を働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会、市民団体などと意見交換を行い、連携活動を検討します。

